

平成 20 年 9 月 期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 1 5 日

上場会社名 株式会社ウェッジホールディングス 上場取引所 大証ヘラクレス
 コード番号 2388 URL <http://www.wedge-hd.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 政文
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 田代 宗雄 TEL (03)5217-0723

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 9 月 期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年9月期第1四半期	540 △22.4	45 —	42 —	34 74.5
19年9月期第1四半期	695 17.7	△10 —	△12 —	19 —
19年9月期	2,593 △20.9	△265 —	△273 —	△525 —

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年9月期第1四半期	507 42	— —
19年9月期第1四半期	486 54	— —
19年9月期	△12,744 71	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月期第1四半期	2,853	1,470	51.5	21,435 58
19年9月期第1四半期	3,337	1,427	41.1	33,494 94
19年9月期	2,834	1,435	50.6	20,928 15

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年9月期第1四半期	36	△1,184	—	634
19年9月期第1四半期	—	—	—	—
19年9月期	△183	△155	716	1,782

(注) 19年9月期第1四半期は、連結キャッシュ・フロー計算書の開示を行っていないため記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年9月期第1四半期	— —
20年9月期第1四半期	— —

3. 平成 20 年 9 月 期の連結業績予想 (平成 19 年 10 月 1 日 ~ 平成 20 年 9 月 30 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	2,800 8.0	139 —	175 —	150 —	2,187 13

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 四半期連結財務諸表の作成基準 : 中間連結財務諸表作成基準
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 (4) 会計監査人の関与 : 無

5. 個別業績の概要 (平成19年10月1日 ~ 平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月期第1四半期	200	130.7	38	267.5	37	17.0	24	87.2
19年9月期第1四半期	87	132.3	10	166.7	31	676.9	12	505.4
19年9月期	672	265.2	5	△74.0	25	82.0	△611	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭
20年9月期第1四半期	350	39
19年9月期第1四半期	313	18
19年9月期	△14,830	31

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月期第1四半期	2,344	1,232	52.6	17,973 11
19年9月期第1四半期	1,962	1,225	62.4	29,888 67
19年9月期	2,319	1,208	52.1	17,622 72

6. 平成20年9月期の個別業績予想 (平成19年10月1日 ~ 平成20年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	1,058 57.3	25 398.3	18 △29.5	15 —	218 71

※ 業績予想の適切な利用に関する説明, その他特記事項

上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当四半期連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しておりますが、サブプライムローン問題に伴う金融市場の混乱が長期化しており、IMFによる世界経済の見通しも大幅に減速する見込みとされ、わが国においても「建築基準法の厳格化や個人、企業の景況感の悪化」という懸念があり、景気の先行きは楽観視できない状況です。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、出版コンテンツにおいては紙媒体からデジタル媒体への移行、音楽コンテンツにおいてはCD・DVD等の媒体からインターネットによるダウンロードへの移行、映像コンテンツにおいては放送からネット配信への移行、と従前の環境から大きく変貌を遂げる過渡期となっておりますが、その根幹であるコンテンツ自体には変わりはなく、コンテンツを中心とした総合エンタテインメント集団である当社グループは変化（チェンジ）をチャンスと捉え、今後のビジネス拡大を推進してまいります。

その一環として、前期においてグループ企業の再編を行い、連結グループ経営体制の強化を図ってまいりました。又、平成19年9月28日にはA.P.F.Holdings Co.,Ltd.のグループ企業である明日香野ホールディングス株式会社を割当先とする第三者割当増資を実施いたしました。A.P.F. Holdings Co.,Ltd.は国内外において多様な業種での企業価値向上案件に関する幅広い実績と経験を有しております。当社グループでは中長期的なパートナーシップを構築し、平成19年12月21日に開催された株主総会において役員を受入を決議し、共同して戦略的取り組みを推進してまいります。

しかしながら、当四半期連結会計期間において、コンテンツ事業はカードゲームの収入が予想を大幅に上回ったものの、ヒット商品に繋がるコンテンツが乏しかったこと、又、物販事業においては前連結会計年度までの売上拡大路線から、仕入抑制及び在庫圧縮を行い、利益を重視する販売戦略へ転換をはかった結果、売上高は5億40百万円（前年同四半期比22.4%減）と前年同四半期と比べて減収となりました。

一方、固定費等の削減に伴う販売費及び一般管理費の減少が奏功し、営業利益45百万円（前年同四半期は10百万円の営業損失）、経常利益42百万円（同12百万円の経常損失）、四半期純利益34百万円（前年同四半期比74.5%増）と増益となりました。

なお、上記金額に消費税等は含まれておりません。

事業の種類別売上高等の状況は次のとおりであります。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業におきましては、当社の「ゲームクリエイティブ事業部」「ブレインナビ事業部」「ライセンス開発事業部」、株式会社エースデュースエンタテインメント、株式会社エースデュースコード及び株式会社ラディクスモバニメーションが主に営んでおります。

「ゲームクリエイティブ事業部」は、主にカードゲームのプロデュース、ゲーム関連の雑誌・書籍コンテンツの編集・企画・デザインを行っております。

「ブレインナビ事業部」は、雑誌・書籍コンテンツの編集・企画・デザインを行っております。主に従来から得意としているゲーム・アニメ・漫画等の関連誌ジャンルへの積極的な営業活動を行いました。

「ライセンス開発事業部」は、主にアニメコンテンツの企画プロデュース、グループ会社全体のコンテンツに関するライセンス管理等を行っております。

株式会社エースデュースエンタテインメントにおいては、「追悼のざわめき」、「口裂け女」等DVDのセル品・レンタル品の販売及び一般の消費者向けのインターネット通信販売を行いました。又、「呪われたUFO体験」、「工場萌えな日々2」等の制作委員会・共同事業への出資を行いました。さらに、独立UHF局、地方局及びBSデジタルからなる9局のアニメーションネットワークを幹事会社として運営し、株式会社電通との業務契約のもとソニー株式会社、本田技研工業株式会社、株式会社東芝等の番組、雑誌、広告等のプロデュースを行いました。

株式会社エースデュースコードは、インターネットTV「B-True」の制作及びCM・CM音楽の制作を行い、又、自社所属タレント「長澤奈央」「入江紗綾」「前田知香」のマネジメント、DVD、写真集の制作を行いました。

株式会社ラディクスモバニメーションは、アニメ「attacked kuma3（アタックド クマサン）」の制作、モバイルでの配信事業「BOY'S ☆HIT」の展開とその配信作品のプロデュース、自社所属声優のインター

ネットラジオ・イベント出演等のマネジメントを行いました。

これらの諸活動の結果、コンテンツ事業の売上高は 2 億 93 百万円（前年同四半期比 15.3%減）、営業利益は 47 百万円となりました。コンテンツ事業においては、カードゲームの収入が従前の予想を大きく上回ったものの、ヒット商品に繋がるコンテンツが乏しかったことにより売上高が減収となりました。

②物販事業

物販事業においては、当社の「たのみこむ事業部」及び株式会社エンジンが主に営んでおります。

「たのみこむ事業部」では、消費者の「満たされないニーズ」と企業の「埋もれたシーズ」を結びつけ、共創型の商品開発を実現しております。

株式会社エンジンは、海外玩具商品の輸入販売・販売代理店業務（Blister Direct）、インターネット通販（キャラネット）及び渋谷公園通りの店舗（BLISTER）による販売を行っております。「Blister Direct」では、海外発のキャラクター商品を提供する国内正規代理店業務のほか、海外メーカーとのタイアップによるオリジナル商品の開発、その他メーカー商品の卸販売を行っております。ウェブサイト「キャラネット」では、日本製の玩具を中心に、そのキャラクターごとに豊富な商品を揃えて消費者向けの通信販売を行っております。「BLISTER」では、国内外の映画、音楽、スポーツ、ゲーム、コミックス等のキャラクター商品を取り揃え、店頭販売しております。

これらの諸活動の結果、物販事業の売上高は 2 億 45 百万円（前年同四半期比 29.2%減）、営業損失 1 百万円となりました。物販事業においては前連結会計年度までの売上拡大路線から、仕入抑制及び在庫圧縮を行い、利益を重視する販売戦略へ転換をはかってまいりました。この結果、売上高が減収となりました。

③その他事業

その他事業は主に上記 2 事業に分類されない当社の出資している投資事業組合の運営管理等が含まれております。当四半期連結会計期間の売上高は 1 百万円（前年同四半期比 50.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態

当四半期連結会計期間末における総資産は前年同四半期末と比べて 4 億 84 百万円減少し、28 億 53 百万円となりました。

流動資産においては、現金及び預金の増加 1 億 16 百万円、売掛金の減少 1 億 30 百万円、たな卸資産の減少 6 億 15 百万円、前渡金の減少 1 億 86 百万円等により、8 億 45 百万円減少し、19 億 49 百万円となりました。たな卸資産の減少につきましては、主に前連結会計年度中に仕掛りであったコンテンツが完成したこと及び物販事業において前連結会計年度末に商品評価減を実施したことによりです。固定資産においては、前連結会計年度末に有形固定資産の減損を行ったことによる減少、投資有価証券の評価減、外国株式購入預託金の増加 4 億 90 百万円等により、3 億 61 百万円増加し、9 億 3 百万円となりました。

流動負債においては、買掛金の減少 3 億 34 百万円、短期借入金の減少 4 億 36 百万円、前受金の減少 2 億 72 百万円等により、9 億 9 百万円減少し、5 億 38 百万円となりました。買掛金と前受金の減少につきましては、主に連結子会社を連結の範囲から除外したこと、又、短期借入金の減少につきましては、社債発行により短期借入れから長期借入れへと移行したことによりです。固定負債は、社債の発行等により 3 億 82 百万円増加し、8 億 44 百万円となりました。

純資産においては、前期に実施した第三者割当増資により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ 3 億 3 百万円増加、前期計上の当期純損失と当期計上の四半期純利益により、利益剰余金が 5 億 10 百万円減少、少数株主持分が 54 百万円減少したこと等により、前年同四半期末と比べて 42 百万円増加して 14 億 70 百万円となりました。

②当四半期連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の四半期末残高は 6 億 34 百万円となりました。

当四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、36 百万円の収入となりました。その主な内訳は、売上債権の減少額 25 百万円、たな卸資産の増加額 36 百万円、前渡金の減少額 23 百万円、仕入債務の減少額 26

百万円、税金等調整前四半期純利益 41 百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、11 億 84 百万円の支出となりました。その主な内訳は、定期預金の預入による支出 7 億円、外国株式購入預託金の増加額 4 億 90 百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、ありません。

3. 業績予想に関する定性的情報

当四半期連結会計期間においては売上高が前年同四半期と比較して減収となっておりますが、今期において大型案件の受注を見込んでいることから、通期の業績予想につきましては平成 19 年 11 月 16 日付の決算短信で公表いたしました数値と変更はございません。

又、上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

連結子会社の株式会社エンジンが平成 19 年 10 月 25 日に締結したグループリースパブリック社の株式取得契約（予定取得価格 4 億 9 千万円）については、タイ王国当局の認可待ち状態であるため、勘定科目を投資有価証券ではなく、外国株式購入預託金として開示しております。

5. 第1四半期連結財務諸表等

(1) 第1四半期連結貸借対照表

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	1,228,434		1,344,953				1,792,099	
2. 売掛金	439,709		309,620				334,771	
3. たな卸資産	839,361		224,055				187,227	
4. 前渡金	225,788		39,104				62,842	
5. 繰延税金資産	9,277		—				—	
6. 未収消費税等	18,522		482				241	
7. その他	52,319		47,859				42,846	
貸倒引当金	△18,307		△16,857				△17,420	
流動資産合計	2,795,105	83.8	1,949,218	68.3	△845,887	△30.3	2,402,609	84.8
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物	31,438		5,946				6,158	
(2) 車両運搬具	8,071		8,672				5,915	
(3) 工具器具備品	13,644		7,060				7,001	
有形固定資産合計	53,154	1.6	21,679	0.8	△31,474	△59.2	19,075	0.6
2. 無形固定資産								
(1) のれん	268,915		242,490				247,273	
(2) その他	6,568		6,396				6,911	
無形固定資産合計	275,483	8.2	248,886	8.7	△26,597	△9.7	254,185	9.0
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	27,800		0				12,800	
(2) 敷金保証金	175,100		139,914				139,914	
(3) 外国株式購入預託金	—		490,000				—	
(4) その他	10,586		3,381				5,957	
投資その他の資産合計	213,486	6.4	633,295	22.2	419,808	196.6	158,672	5.6
固定資産合計	542,125	16.2	903,861	31.7	361,736	66.7	431,933	15.2
資産合計	3,337,230	100.0	2,853,080	100.0	△484,150	△14.5	2,834,542	100.0

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 買掛金	512,462		177,649				203,805	
2. 短期借入金	536,000		100,000				100,000	
3. 一年内償還予定社債	—		100,000				100,000	
4. 未払金	56,119		45,906				39,898	
5. 未払法人税等	10,481		11,094				11,733	
6. 未払消費税等	4,978		8,140				10,775	
7. 前受金	272,616		—				—	
8. 預り金	—		53,271				48,923	
9. ポイント引当金	8,079		10,838				9,788	
10. 賞与引当金	1,650		—				—	
11. その他	45,645		31,796				29,790	
流動負債合計	1,448,033	43.4	538,697	18.9	△909,336	△62.8	554,714	19.6
II 固定負債								
1. 社債	—		380,000				380,000	
2. 新株予約権付社債	460,000		460,000				460,000	
3. その他	1,851		4,266				4,512	
固定負債合計	461,851	13.9	844,266	29.6	382,415	82.8	844,512	29.8
負債合計	1,909,885	57.3	1,382,963	48.5	△526,291	△27.6	1,399,227	49.4
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	465,375	13.9	769,140	26.9	303,765	65.3	769,140	27.1
2. 資本剰余金	2,149,956	64.4	2,453,722	86.0	303,765	14.1	2,453,722	86.6
3. 利益剰余金	△1,213,887	△36.4	△1,724,369	△60.4	△510,481	△42.1	△1,759,169	△62.1
4. 自己株式	△28,352	△0.8	△28,378	△1.0	△25	0.1	△28,378	△1.0
株主資本合計	1,373,091	41.1	1,470,116	51.5	97,024	7.1	1,435,315	50.6
II 少数株主持分	54,253	1.6	—	—	△54,253	△100.0	—	—
純資産合計	1,427,345	42.7	1,470,116	51.5	42,770	3.0	1,435,315	50.6
負債及び純資産合計	3,337,230	100.0	2,853,080	100.0	△484,150	△14.5	2,834,542	100.0

(2) 第1四半期連結損益計算書

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	695,970	100.0	540,432	100.0	△155,538	△22.4	2,593,505	100.0
II 売上原価	498,506	71.6	319,722	59.2	△178,783	△35.9	2,093,932	80.7
売上総利益	197,464	28.4	220,709	40.8	23,245	11.8	499,572	19.3
III 販売費及び一般管理費	207,688	29.9	175,294	32.4	△32,393	△15.6	764,920	29.5
営業利益又は営業 損失(△)	△10,223	△1.5	45,415	8.4	55,639	—	△265,347	△10.2
IV 営業外収益								
1. 受取利息	—		—				1,692	
2. 保険解約返戻金	—		—				5,119	
3. その他	383		1,072				4,316	
営業外収益合計	383	0.1	1,072	0.2	689	179.9	11,128	0.4
V 営業外費用								
1. 支払利息	2,134		3,403				8,702	
2. 株式交付費償却	—		280				2,759	
3. 社債発行費償却	—		—				6,541	
4. その他	189		106				1,568	
営業外費用合計	2,324	0.3	3,789	0.7	1,465	63.1	19,572	0.8
経常利益又は経常 損失(△)	△12,164	△1.7	42,697	7.9	54,862	—	△273,791	△10.6

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
VI 特別利益								
1. 固定資産売却益	—		490				40	
2. 貸倒引当金戻入益	7,086		—				7,799	
3. 関係会社株式売却益	—		—				45,405	
特別利益合計	7,086	1.0	490	0.1	△6,595	△93.1	53,245	2.1
VII 特別損失								
1. 固定資産除却損	330		—				3,077	
2. 固定資産売却損	—		—				30	
3. 減損損失	—		—				36,674	
4. 事業所移転費用	—		—				2,588	
5. たな卸資産評価損	—		—				253,532	
6. 有価証券評価損	—		1,966				20,992	
7. その他	5,992		—				13,652	
特別損失合計	6,322	0.9	1,966	0.4	△4,355	△68.9	330,548	12.8
税金等調整前四半 期純利益又は四半 期(当期)純損失 (△)	△11,401	△1.6	41,221	7.6	52,623	—	△551,094	△21.3
法人税、住民税及 び事業税	9,286	1.3	6,421	1.2	△2,865	△30.9	5,787	0.2
法人税等調整額	△2,290	△0.3	—	—	△2,290	△100.0	6,986	0.3
少数株主損失	38,342	5.5	—	—	△38,342	△100.0	38,532	1.5
四半期純利益又は 当期純損失(△)	19,945	2.9	34,800	6.4	14,855	74.5	△525,337	△20.3

(3) 第1四半期連結株主資本等変動計算書

前年同四半期 (自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	2,149,956	△1,233,832	△28,352	1,353,146
当四半期連結会計期間中の変動額					
四半期純利益			19,945		19,945
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)					
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	19,945	—	19,945
平成18年12月31日 残高 (千円)	465,735	2,149,956	△1,213,887	△28,352	1,373,091

	少数株主持分	純資産合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	92,596	1,445,742
当四半期連結会計期間中の変動額		
四半期純利益		19,945
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	△38,342	△38,342
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	△38,342	△18,397
平成18年12月31日 残高 (千円)	54,253	1,427,345

当四半期 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	2,453,722	△1,759,169	△28,378	1,435,315
当四半期連結会計期間中の変動額					
四半期純利益			34,800		34,800
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)					
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	—	34,800	—	34,800
平成19年12月31日 残高 (千円)	769,140	2,453,722	△1,724,369	△28,378	1,470,116

	少数株主持分	純資産合計
平成19年9月30日 残高 (千円)	—	1,435,315
当四半期連結会計期間中の変動額		
四半期純利益		34,800
株主資本以外の項目の当四半期連結会計期間中の変動額 (純額)	—	—
当四半期連結会計期間中の変動額合計 (千円)	—	34,800
平成19年12月31日 残高 (千円)	—	1,470,116

前連結会計年度の要約連結株主資本等変動計算書 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	2,149,956	△1,233,832	△28,352	1,353,146
連結会計年度中の変動額					
新株の発行	303,765	303,765			607,531
当期純損失			△525,337		△525,337
自己株式の取得				△25	△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)					
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	303,765	303,765	△525,337	△25	82,169
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	2,453,722	△1,759,169	△28,378	1,435,315

	少数株主持分	純資産合計
平成18年9月30日 残高 (千円)	92,596	1,445,742
連結会計年度中の変動額		
新株の発行		607,531
当期純損失		△525,337
自己株式の取得		△25
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)	△92,596	△92,596
連結会計年度中の変動額合計 (千円)	△92,596	△10,427
平成19年9月30日 残高 (千円)	—	1,435,315

(4) 第1四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
区 分	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は当期 純損失 (△)	41,221	△551,094
減価償却費	2,145	15,997
のれん償却	4,783	19,134
減損損失	—	36,674
関係会社株式売却益	—	△45,405
投資有価証券評価損	1,966	20,992
固定資産除却損	—	3,077
貸倒引当金の減少額	△562	△7,973
ポイント引当金の増加額	1,050	2,758
売上債権の減少額	25,151	187,238
たな卸資産の減少額 (△増加額)	△36,828	363,792
前渡金の減少額 (△増加額)	23,737	△12,783
未収消費税等の減少額 (△増加額)	△240	15,379
仕入債務の減少額	△26,155	△250,745
未払金の増加額 (△減少額)	6,007	△17,070
前受金の増加額 (△減少額)	△5,100	40,410
未払消費税等の増加額 (△減少額)	△2,634	4,516
預り金の増加額	4,347	37,233
その他	6,396	31,080
小計	45,285	△106,787
利息及び配当金の受取額	—	1,692
利息の支払額	△671	△8,123
法人税等の支払額	△8,359	△70,460
営業活動によるキャッシュ・フロー	36,254	△183,678

(単位：千円)

	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
区 分	金 額	金 額
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	4,858
定期預金の預入による支出	△700,900	△3,051
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	2,259
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△61,478
連結の範囲の変更を伴う子会社等の解散による支出	—	△54,064
有形固定資産の取得による支出	△4,766	△2,737
有形固定資産の除売却による収入	532	85
無形固定資産の取得による支出	—	△7,256
敷金保証金の差入れによる支出	—	△44,533
敷金保証金の回収による収入	—	10,504
外国株式購入預託金の差入れによる支出	△490,000	—
出資金の返還による収入	10,833	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,184,301	△155,414
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	—	△371,000
社債の発行による収入	—	500,000
社債の償還による支出	—	△20,000
株式の発行による収入	—	607,531
自己株式の取得による支出	—	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	716,506
IV 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△1,148,046	377,412
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,782,497	1,405,084
VI 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	634,450	1,782,497

(継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況)

<p>当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)</p>	<p>(参考) 前期 (平成19年9月期)</p>
<p>当社グループは、前連結会計年度まで3期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっております。当四半期連結会計期間においては、四半期純利益を計上し、営業キャッシュ・フローも36百万円のプラスとなりましたが、利益剰余金はマイナス17億24百万円と大幅にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期に多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実に行うために、当社内にライセンス事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実に行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>又、平成19年9月28日に6億7百万円の第三者割当を実施したことにより、当面の資金繰りは問題なく、割当先のA.P.F.Holdings Co.,Ltdグループとも中長期的なパートナーシップを構築し、平成19年12月21日に開催された株主総会において役員を受入を決議し、共同して戦略的取り組みを推進してまいります。</p> <p>四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。</p>	<p>当社グループは、前連結会計年度まで3期連続して当期純損失を計上し、営業キャッシュ・フローにおいても3期連続してマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期から当期にかけて多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実に行うために、当社内にライセンス事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実に行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>又、平成19年9月28日に6億7百万円の第三者割当を実施したことにより、当面の資金繰りは問題なく、割当先のA.P.F.Holdings Co.,Ltdグループとも中長期的なパートナーシップを構築し、従前のコンテンツ事業をさらに発展させるとともに、新たに投資事業を含んだ戦略的取り組みを推進していく予定です。</p> <p>連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を連結財務諸表には反映しておりません。</p>

(セグメント情報)

1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期 (平成20年9月期第1四半期)

	コンテンツ 事業(千円)	物販事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	293,462	245,719	1,250	540,432	—	540,432
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	523	326	—	850	△850	—
計	293,986	246,045	1,250	541,282	△850	540,432
営業費用	246,216	247,909	1,741	495,867	△850	495,017
営業利益又は営業損 失 (△)	47,769	△1,863	△491	45,415	—	45,415

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンテンツ事業	映像、音楽、アニメ、雑誌、書籍、カードゲーム、ウェブ等のコンテンツの企画・制作・編集・デザイン・卸売・小売・配信及び関連するライセンス事業
物販事業	玩具、雑誌、関連商品の卸売・小売、マーチャンダイジング化
その他事業	上記に当てはまらない事業

(参考) 前期 (平成19年9月期)

	コンテンツ 事業(千円)	物販事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	1,211,580	1,368,048	13,876	2,593,505	—	2,593,505
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	444	447	—	891	△891	—
計	1,212,024	1,368,495	13,876	2,594,397	△891	2,593,505
営業費用	1,263,896	1,592,354	3,793	2,860,044	△1,191	2,858,852
営業利益又は営業損 失 (△)	△51,872	△223,858	10,082	△265,647	300	△265,347

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
コンテンツ事業	映像、音楽、アニメ、雑誌、書籍、カードゲーム、ウェブ等のコンテンツの企画・制作・編集・デザイン・卸売・小売・配信及び関連するライツ事業
物販事業	玩具、雑誌、関連商品の卸売・小売、マーチャンダイジング化
その他事業	上記に当てはまらない事業

3. 事業区分の再編

事業区分につきましては、前間連結会計年度において「コンテンツ制作事業」「コンテンツ流通事業」「メディア事業」「その他事業」の4つの区分にしておりましたが、自社企画を中心としたコンテンツをゼロから生み出せる企業グループとして、コンテンツの製販一体となった企画・開発を行う体制への事業再編を実施したことに伴い、「コンテンツ事業」「物販事業」「その他事業」の3つに再編いたしました。

2. 所在地別セグメント情報

当四半期 (平成20年9月期第1四半期)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

(参考) 前期 (平成19年9月期)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 海外売上高

当四半期 (平成20年9月期第1四半期)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(参考) 前期 (平成19年9月期)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
1株当たり純資産額	21,435円58銭	1株当たり純資産額	20,928円15銭
1株当たり四半期純利益金額	507円42銭	1株当たり当期純損失金額	12,744円71銭
<p>なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在するものの希薄化効果を有しないため記載しておりません。</p>		<p>なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失が計上されているため記載しておりません。</p>	

(注) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)
1株当たり四半期純利益金額又は当期純損失金額		
1. 普通株式にかかる四半期純利益金額又は当期損失金額		
(1) 損益計算書上の四半期純利益又は当期純損失金額(△)(千円)	34,800	△525,337
(2) 普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
差引普通株式にかかる四半期純利益金額又は当期純損失金額(△)(千円)	34,800	△525,337
2. 普通株式の期中平均株式数(株)	68,583	41,220
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額又は当期純損失金額		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(額面総額5億円)並びに新株予約権3種類(新株予約権の数1,952個)	第1回無担保転換社債型新株予約権付社債(額面総額5億円)並びに新株予約権3種類(新株予約権の数1,952個)

(重要な後発事象)

当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)	(参考) 前期 (平成19年9月期)																																								
_____	<p>(株式会社エンジンによるグループリースパブリック社の株式の取得)</p> <p>当社の完全子会社である株式会社エンジンは、タイ王国に拠点を置くグループリースパブリック社に出資することを決定し、発行済株式の24.9%を取得する株式売買契約を締結いたしました。</p> <p>1. グループリースパブリック社の平成19年9月30日現在の概要は次のとおりです。</p> <p>(1) 商号 Group Lease Public Company Limited</p> <p>(2) 代表者 Mr. Samart Chiradamrong</p> <p>(3) 本店所在地 63 SOI 1, THETSABANNIMITAI ROAD, LADYAO, CHATUCHAK Bangkok</p> <p>(4) 設立年月日 1986年5月6日</p> <p>(5) 事業の内容 バイクローンの引受</p> <p>(6) 決算期 12月末</p> <p>(7) 従業員数 152名</p> <p>(8) 資本金 225,000,000バーツ</p> <p>(9) 発行済株式総数 45,000,000株</p> <p>(10) 大株主構成及び所有割合 A. P. F Management Company Limited 37,363,190株 (83.03%)</p> <p>(11) 最近事業年度における業績 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2005年 12月期</th> <th>2006年 12月期</th> <th>2007年 12月期 (中間期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>1,355,679</td> <td>1,509,504</td> <td>813,353</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>280,131</td> <td>275,357</td> <td>152,597</td> </tr> <tr> <td>純資産</td> <td>1,453,683</td> <td>1,544,900</td> <td>1,697,498</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>3,864,553</td> <td>3,779,848</td> <td>4,440,570</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">(単位：百万バーツ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2005年 12月期</th> <th>2006年 12月期</th> <th>2007年 12月期 (中間期)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>397.56</td> <td>442.67</td> <td>238.52</td> </tr> <tr> <td>当期利益</td> <td>82.15</td> <td>80.75</td> <td>44.75</td> </tr> <tr> <td>純資産</td> <td>426.30</td> <td>453.05</td> <td>497.80</td> </tr> <tr> <td>総資産</td> <td>1,133.30</td> <td>1,108.46</td> <td>1,302.22</td> </tr> </tbody> </table> <p>ご参考：2007年10月24日時点のタイのバンコク銀行における為替レート 1バーツ：3.41円</p>		2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期 (中間期)	売上高	1,355,679	1,509,504	813,353	当期利益	280,131	275,357	152,597	純資産	1,453,683	1,544,900	1,697,498	総資産	3,864,553	3,779,848	4,440,570		2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期 (中間期)	売上高	397.56	442.67	238.52	当期利益	82.15	80.75	44.75	純資産	426.30	453.05	497.80	総資産	1,133.30	1,108.46	1,302.22
	2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期 (中間期)																																						
売上高	1,355,679	1,509,504	813,353																																						
当期利益	280,131	275,357	152,597																																						
純資産	1,453,683	1,544,900	1,697,498																																						
総資産	3,864,553	3,779,848	4,440,570																																						
	2005年 12月期	2006年 12月期	2007年 12月期 (中間期)																																						
売上高	397.56	442.67	238.52																																						
当期利益	82.15	80.75	44.75																																						
純資産	426.30	453.05	497.80																																						
総資産	1,133.30	1,108.46	1,302.22																																						

<p>当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)</p>	<p>(参考) 前期 (平成19年9月期)</p>
	<p>2. 株式の取得先</p> <p>(1) 株式の取得先 A.P.F. Management Company Limited</p> <p>(2) 当社との関係 当社大株主の親会社 (A.P.F. グループ) の100%子会社です。</p> <p>3. 取得株式数、取得価格及び取得前後の所有株式の状況</p> <p>(1) 異動前の所有株式数 0株 (所有割合 0%)</p> <p>(2) 取得株式数 (予定) 11,205,000株 (取得割合 24.9%)</p> <p>(3) 異動後の所有株式数 (予定) 11,205,000株 (予定取得価格 490百万円)</p> <p>(4) 取得価格の説明 グループリースパブリック社の平成19年6月末の1株当たり純資産額と1株当たり利益を勘案して、平成19年10月23日の終値 (15.2パーツ) を基準とし、12.8パーツといたしました。</p> <p>(新規投資案件に係る預け金) 連結子会社の株式会社エンジン は、平成19年12月6日に投資事業の新規案件に係る預け金2億5千万円を、投資先が指定する口座に保管しております。当該投資案件の契約が解除となったことに伴い、平成19年12月14日に返還されております。</p>

6. 第1四半期財務諸表等

(1) 第1四半期貸借対照表

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1. 現金及び預金	820,960		1,112,357				1,583,334	
2. 売掛金	30,135		127,574				132,317	
3. 営業未収入金	8,774		—				—	
4. たな卸資産	437,931		40,756				36,373	
5. 前払費用	3,881		4,245				3,611	
6. 短期貸付金	125,530		1,039,430				522,380	
7. 未収入金	2,177		71,929				72,933	
8. 未収消費税等	14,545		—				—	
9. その他	1,655		18,533				15,403	
貸倒引当金	—		△146,600				△136,000	
流動資産合計	1,445,592	73.7	2,268,227	96.7	822,634	56.9	2,230,354	96.1
II 固定資産								
1. 有形固定資産								
(1) 建物	1,778		5,237				5,428	
(2) 工具器具備品	3,394		1,603				1,485	
有形固定資産合計	5,172	0.3	6,840	0.3	1,668	32.3	6,913	0.3
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウェア	7		75				82	
(2) その他	674		674				674	
無形固定資産合計	682	0.0	749	0.0	67	9.9	757	0.0
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	27,800		0				12,800	
(2) 関係会社株式	447,131		38,889				38,889	
(3) 敷金保証金	28,327		30,277				30,277	
(4) その他	7,649		—				—	
投資その他の資産合計	510,908	26.0	69,166	3.0	△441,741	△86.5	81,966	3.6
固定資産合計	516,764	26.3	76,757	3.3	△440,006	△85.2	89,637	3.9
資産合計	1,962,357	100.0	2,344,985	100.0	382,628	19.5	2,319,991	100.0

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年9月期 第1四半期末)		当四半期末 (平成20年9月期 第1四半期末)		増 減		(参考) 前期末 (平成19年9月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1. 買掛金	48,833		30,188				31,043	
2. 短期借入金	200,000		100,000				100,000	
3. 一年内償還予定社債	—		100,000				100,000	
4. 未払金	16,282		19,496				21,170	
5. 未払法人税等	42		3,959				6,090	
6. 未払消費税等	—		4,905				5,740	
7. 預り金	1,393		4,738				5,604	
8. 賞与引当金	150		—				—	
9. その他	10,398		9,047				1,723	
流動負債合計	277,100	14.1	272,335	11.6	△4,765	△1.7	271,372	11.7
II 固定負債								
1. 社債	—		380,000				380,000	
2. 新株予約権付社債	460,000		460,000				460,000	
固定負債合計	460,000	23.5	840,000	35.8	380,000	82.6	840,000	36.2
負債合計	737,100	37.6	1,112,335	47.4	375,234	50.9	1,111,372	47.9
(純資産の部)								
I 株主資本								
1. 資本金	465,375	23.7	769,140	32.8	303,765	65.3	769,140	33.2
2. 資本剰余金								
(1) 資本準備金	690,836		994,602				994,602	
資本剰余金合計	690,836	35.2	994,602	42.4	303,765	44.0	994,602	42.9
3. 利益剰余金								
(1) 利益準備金	306		306				306	
(2) その他利益剰余金	121,079		△479,033				△503,063	
利益剰余金合計	121,385	6.2	△478,727	△20.4	△690,112	△494.4	△502,757	△21.7
4. 自己株式	△52,340	△2.7	△52,366	△2.2	△25	0.1	△52,366	△2.3
株主資本合計	1,225,256	62.4	1,232,649	52.6	7,393	0.6	1,208,618	52.1
純資産合計	1,225,256	62.4	1,232,649	52.6	7,393	0.6	1,208,618	52.1
負債及び純資産合計	1,962,357	100.0	2,344,985	100.0	382,628	19.5	2,319,991	100.0

(2) 第1四半期損益計算書

(単位：千円，%)

科 目	前年同四半期 (平成19年9月期 第1四半期)		当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)		増 減		(参考) 前期 (平成19年9月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売上高	87,075	100.0	200,840	100.0	113,764	130.7	672,527	100.0
II 売上原価	11,117	12.8	98,328	49.0	87,211	784.5	403,237	60.0
売上総利益	75,958	87.2	102,512	51.0	26,533	35.0	269,289	40.0
III 販売費及び一般管理費	65,581	75.3	64,381	32.0	△1,200	△1.8	264,272	39.3
営業利益	10,377	11.9	38,130	19.0	27,753	267.5	5,017	0.7
IV 営業外収益	21,852	25.1	2,865	1.4	△18,986	△86.9	35,889	5.4
V 営業外費用	277	0.3	3,626	1.8	3,348	—	15,387	2.3
経常利益	31,952	36.7	37,370	18.6	5,418	17.0	25,518	3.8
VI 特別利益	—	—	—	—	—	—	26,700	4.0
VII 特別損失	18,412	21.2	12,766	6.3	△5,645	△30.7	660,903	98.3
税引前四半期純利益又は当期純損失(△)	13,539	15.5	24,603	12.3	11,063	81.7	△608,684	△90.5
法人税、住民税及び事業税	701	0.8	572	0.3	△128	△18.4	2,620	0.4
四半期純利益又は当期純損失(△)	12,838	14.7	24,030	12.0	11,912	87.2	△611,305	△90.9

(3) 第1四半期株主資本等変動計算書

前年同四半期（自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日）

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	690,836	690,836	306	108,241	108,547	△52,340	1,212,417	1,212,417
当四半期中の変動額									
四半期純利益					12,838	12,838		12,838	12,838
当四半期中の変動額合計 (千円)	—	—	—	—	12,838	12,838	—	12,838	12,838
平成18年12月31日 残高 (千円)	465,375	690,836	690,836	306	121,079	121,385	△52,340	1,225,256	1,225,256

当四半期（自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日）

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	994,602	994,602	306	△503,063	△502,757	△52,366	1,208,618	1,208,618
当四半期中の変動額									
四半期純利益					24,030	24,030		24,030	24,030
当四半期中の変動額合計 (千円)	—	—	—	—	24,030	24,030	—	24,030	24,030
平成19年12月31日 残高 (千円)	769,140	994,602	994,602	306	△479,033	△478,727	△52,366	1,232,649	1,232,649

前事業年度の要約株主資本等変動計算書 (自 平成18年10月1日 至 平成19年9月30日)

	株主資本								純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計			
平成18年9月30日 残高 (千円)	465,375	690,836	690,836	306	108,241	108,547	△52,340	1,212,417	1,212,417
事業年度中の変動額									
新株の発行	303,765	303,765	303,765					607,531	607,531
当期純損失					△611,305	△611,305		△611,305	△611,305
自己株式の取得							△25	△25	△25
事業年度中の変動額合計 (千円)	303,765	303,765	303,765	—	△611,305	△611,305	△25	△3,799	△3,799
平成19年9月30日 残高 (千円)	769,140	994,602	994,602	306	△503,063	△502,757	△52,366	1,208,618	1,208,618

(継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況)

<p>当四半期 (平成20年9月期 第1四半期)</p>	<p>(参考) 前期 (平成19年9月期)</p>
<p>当社は、前事業年度において重要な当期純損失を計上し、当四半期においては四半期純利益を計上しましたが、利益剰余金はマイナス4億78百万円と大幅にマイナスとなっており、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期に多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実にを行うために、当社内にライセンス事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実に行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>又、平成19年9月28日に6億7百万円の第三者割当を実施したことにより、当面の資金繰りは問題なく、割当先のA.P.F.Holdings Co.,Ltdグループとも中長期的なパートナーシップを構築し、平成19年12月21日に開催された株主総会において役員を受入を決議し、共同して戦略的取り組みを推進してまいります。</p> <p>四半期財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期財務諸表には反映しておりません。</p>	<p>当社は、当事業年度において重要な当期純損失を計上し、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況に該当します。</p> <p>当社グループは、前期から当期にかけて多額のコンテンツ先行投資を実施いたしました。このコンテンツ投資の回収を確実にを行うために、当社内にライセンス事業部を発足させ、ライセンス収益を確保するよう、社内管理体制を整備充実いたしました。</p> <p>又、カードゲームの企画プロデュースを積極的に推進した結果、新規案件の受注及び既発売商品についての新たなライセンス契約締結によるロイヤリティ収入を獲得し、収益拡大を図っております。</p> <p>これらの先行投資の回収を確実に行うこと及びカードゲームの積極的な受注活動を行うことにより、売上増加、営業利益を増加させ、収益力の向上とキャッシュ・フローの改善を図っております。</p> <p>又、平成19年9月28日に6億7百万円の第三者割当を実施したことにより、当面の資金繰りは問題なく、割当先のA.P.F.Holdings Co.,Ltdグループとも中長期的なパートナーシップを構築し、戦略的取り組みを推進していく予定です。</p> <p>財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を財務諸表には反映しておりません。</p>